

国分寺学の取組 3年生 総合的な学習の時間「国分寺となかよし(社会を明るくする運動)」

3年生は総合的な学習の時間に、「社会を明るくする運動」の一つの取組としてヒマワリの植樹活動を行いました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする法務省が主唱する全国的な運動です。「社会を明るくする運動」のシンボルマークであるひまわりを国分寺市内に咲かせようと、平成21年度から本格的に取り組んでいます。

5月14日に種まきを行い、7月14日にひまわり迷路を楽しみました。一面に広がるひまわりの花に、子どもたちは驚いていました。ひまわり畑に迷路を作っていただき、子どもたちが迷路に挑戦しました。何回も挑戦する子もたくさんいました。

地域に親しみ、地域に学ぶ子供たちの姿が見られました。



国分寺学取組 5年生 総合的な学習の時間「赤米について調べよう」

5年生は国分寺赤米会の方々をお招きして、国分寺市に伝わる「武蔵国分寺種赤米」の歴史や育て方について学習します。

6月。学校の校庭にある「ミニ水田」に赤米の苗を植えました。裸足で田んぼに入り、歴史ある赤米を植え、9月には鎌を用いて、収穫しました。お米を育てることの大変さや農家の方々の苦勞を実際に体験することができました。

教科書では学ぶことのできないことを学ぶことができ、貴重な時間となりました。

